東陽小中学校屋内運動場等空調設備工事

Ｎｏ	図　面　名　称		縮尺
Ｅ-０１	工事仕様書（電気設備）	3枚組	
Ｅ-０２	工事仕様書（電気設備）	2/3	
Ｅ-０３	工事仕様書（電気設備）	3/3	
Ｅ-０４	配置図・案内図		1/400
Ｅ-０５	高圧受変電設備　改修図		Ｎ・Ｓ
Ｅ-０６	分電盤結線図		Ｎ・Ｓ
Ｅ-０７	幹線設備　校舎棟　１階平面図		1/100
Ｅ-０８	幹線設備　１階平面図		1/100
Ｅ-０９	空調電源設備　１階平面図		1/100
Ｅ-１０	空調電源設備　２階平面図		1/100
Ｅ-１１	空調制御設備　１階平面図		1/100
Ｅ-１２	電灯・コンセント設備　１階平面図		1/100
Ｅ-１３	電灯設備　２階平面図		1/100

JOB NO.

DATE ２０２６年 ９月

PROJECT NAME 東陽小中学校屋内運動場等空調設備工事

一級建築士事務所 株式会社 土倉建築事務所 石川県知事登録 １２４８号 一級建築士 １９９４０８号 山田　敬一

DRAWING ・ ・

TITLE 電気設備　表紙

SCALE Ｎ・Ｓ

NO. Ｅ－００

工　事　仕　様　書　（電気設備）

Ⅰ．工 事 概 要　　東洋

1. 工 事 名 称　東陽小中学校屋内運動場等空調設備工事

2. 工 事 場 所　輪島市　町野町粟蔵　地内

3. 完 成 期 日　令和　　9年　3月　31日　（余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。）
　指定部分　・無　・有（指定期日：令和　　年　　月　　日）　対象部分（　　）
　概成工期　・無　・有（令和　　年　　月　　日）　(1.2.1(6))

4. 建 物 概 要　　RC造

建　物　名　称	構　造	階　　数	延面積（㎡）	消防令別表第一	備　考
屋内運動場	RC造	2 階建(地階　階.塔屋　階)	1,471		

5. 別契約の関連工事
・建築工事　・機械設備工事　・給排水衛生設備工事　・空気調和設備工事　・構内交換設備工事
・昇降機設備工事　・自家発電設備工事　・厨房機器設備工事　・屋外付帯工事　・植栽工事
・　・　・　・

6. 工 事 内 容
屋内運動場等空調設備工事に伴う電気設備工事を行う。

1．高圧受変電設備	新設空調動力盤用のブレーカーの増設を行う。
2．空調電源設備	新設空調機への電源供給を行う。
3．空調制御設備	停電時に自立運転を行う為の制御配管配線を行う。
4．電灯設備	避難所としての対象照明の電源を既設電灯盤から空調電源切替盤へ配管配線を行う。
	校舎棟職員室内の電灯盤よりフル２線リモコンの伝送ユニット電源を電源切替盤へ配管配線を行う。
	照度は、75～1００lx以上とする。
5．コンセント設備	ミーティングルームにスマートフォン充電など用のコンセントを新設し電源切替盤へ配管配線を行う。

Ⅱ．工 事 仕 様
1．一 般 仕 様
1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和７年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和７年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和７年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書・標準図（建築工事にあっては建築工事標準詳細図）を適用する。
2．特 記 仕 様
章は●印のものを、特記事項で選択する項目は・印に〇印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

章	項　　目	特　　記　　事　　項
● 一般共通事項	① 工事実績情報	請負金額５，０００千円以上の工事は工事実績情報登録を行う。 (1.1.4)
	② 施工体制台帳の作成等	下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。 (1.1.5(3))
	③ 他工事との取り合い	スリーブ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表－１によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合せる。 (1.1.7)
	④ 工事の記録等	工事総合進捗表、工事日誌、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月１５日及び月末ごとに提出する。 (1.2.4)
	⑤ 施工条件	・新築工事　⊙改修工事　⊙執務並行改修　・全館無人改修） (1.3.3) ・工事用車両の駐車場所等は図示による。 (改1.3.3)
	６ 発生材の処理等	・引渡しを要するもの（・　　） ・特別管理産業廃棄物（・ＰＣＢ使用機器　・廃石綿　・　　） ・現場で再利用を図るもの（・　　） ・再資源化を図るもの（・蛍光ランプ　・コンクリート　・アスファルト　・木材　・　　） (1.3.9(2))
	７ 再使用機材	・取外し後再使用するものは図示による。 (改1.4.3)

章	項　　目	特　　記　　事　　項
● 一般共通事項	８ 事前調査	石綿含有分析調査を　・行う（図示　箇所）　・行わない (改1.5.1) ＰＣＢ含有分析調査を　・行う（図示　箇所）　・行わない (改1.5.3)
	９ 養生	1) 既存部分の養生範囲は、図示による。 (改1.7.1) 2) 養生の方法及び固定された備品・ロッカー等の移動は、図示による。 (改1.7.2)
	10 撤去等	1) 回収を要する機器及び配管の内容物　・燃料　・ (改1.8.1) 2) 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。 (改1.8.6)
	⑪ 環境への配慮	1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。 (1.4.1(1)) ・照明制御システム　・変圧器　・下塗用塗料（重防食）　・ 2) 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。 (1.4.1(2)) ① JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
一般共通事項	⑫ 機材の品質等	1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。ただし、仮設に使用する機材は、新品に限らない。 (1.4.2(1)) 2) 下表に示す機材等の製造者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造者等が「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新年版）」（（一社）公共建築協会）等に記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。

機　材　名　称	
ＬＥＤ照明器具（一般屋内用に限る）	絶縁監視装置
照明制御装置	蓄電池
サージ防護デバイス（ＳＰＤ）	交流無停電電源装置
可変速運転用インバータ装置	太陽光発電装置
盤類	監視カメラ装置
高圧機器	中央監視制御装置

章	項　　目	特　　記　　事　　項
一般共通事項	⑬ 工事の創意工夫等	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。 (1.5.7)
	14 化学物質の濃度測定	建築物の室内空気中の濃度測定を　・行う　・行わない (1.5.8) 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。
事	15 中間検査	中間検査の実施　・無　・有（時期　・天井下地完了時　・　） (1.6.2)
	⑯ 完成図	原図及び製本（等倍 １ 部、Ａ３縮小 ２ 部）提出する。 (1.7.2)
	⑰ 保全に関する資料	保全に関する資料は次のとおり、 ２ 部提出する。 (1.7.3) ①建築物等の利用に関する説明書※ ②機器取扱説明書(主要機器一覧表とも) ③機器性能試験成績書（総合試運転報告書とも） ④官公署届出書類 ※「建築物等の利用に関する説明書」作成の手引き 手引きのダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_kentikubuturiyou_tebiki.html
項	18 足場類	内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。 (改2.2.2)
	19 仮設間仕切･扉	設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。 (改2.2.3)
	20 仮設備	仮設備を　・設ける（図示による）　・設けない (改2.14.1)
	㉑ 工事用電力等	・既存施設に電力量計等を設けて使用できる（有償）　⊙発電機又は北陸電力引込み等 (改2.2.4)
	㉒ 監督員事務所等	1) 監督員事務所を　※ 設けない　・設ける[・ １号（10㎡程度）　・ ２号(20㎡程度）] (2.1.1(1)(ｲ)) 2) 監督員事務所に設ける備品等 ・保護帽　・墜落制止用器具　・長靴　・合羽　・机　・椅子 ・懐中電灯　・書棚　・黒板　・寒暖計　・　・ 3) 設計図を工事監理用に製本（等倍 １ 部、Ａ３縮小 ２ 部）し、監督員事務所等に置く。

章	項　　目	特　　記　　事　　項
● 一般共通事項	23 快適トイレ（快適トイレ実施要領に基づく）	・設置する　⊙設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる 快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。
	㉔ 工事現場の表示板	工事現場には、下記表示板を設置する。（記入例） (2.1.1(1)(ｳ)) 上段の地色は白色　文字は青色 下段の地色は青色　文字は白色 工　事　名 工 期　自　年　月　日～至　年　月　日 発注者　輪島市 設　計　（建築・設備委託業者名を記入） 監　理　（建築・設備委託業者名を記入） 施　工　建　築　（施工業者名を記入） 電　気　（施工業者名を記入） 機　械　（施工業者名を記入） この工事は、週休２日に取り組んでいます 60cm～75cm　90cm 設計及び監理の欄は、実施設計及び工事監理が委託発注された場合。 工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は角ゴシック体とする。
	25 埋め戻し土	※ 根切り土の中の良質土（ただし、管の周囲は山砂）　・山砂 (2.2.1)
一般	26 建設発生土の処理	・現場内で処理 ・構内指示の場所に堆積　・構内指示の場所に敷き均し ・場外搬出適正処理　（「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと。） ※ 指定（想定）搬出先　受入場所： 受入時間帯：　時　分～　時　分 仮置き等：
	㉗ 塗装	次の金属露出配管（亜鉛めっき面を含む）は、塗装を行う。 (2.7.1) ⊙屋外　⊙屋内　⊙居室　・機械室　・　）
共	㉘ はつり	1) 放射線透過検査を　・行う　※ 行わない（但し、鉄筋探査は行う。） (改2.11.2) 2) 配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターとし、場所・口径は図示による。 (改2.11.3) 3) 溝はつり深さは、図示による。 (改2.11.4) 4) 防水箇所の貫通処理方法は図示による。 (改2.11.5)
	29 あと施工アンカー	1) 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。 (改2.12.3) 2) 床スラブ上面の施工後確認試験（引張試験（短期許容引抜荷重））を ・行う（　箇所）　・行わない 3) 天井スラブ下面、壁面の施工後確認試験（引張試験（長期許容引抜荷重））を ・行う（　箇所）　・行わない
通	㉚ 県内産材料	石川県建設工事標準請負契約約款（以下「請負契約約款」という。）第６条の２第７項により、調達する工事材料は石川県産とするように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。
	㉛ 材料検査	請負契約約款第１３条第２項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。 ・受変電機器　・自家発電装置　・照明器具類　⊙配電盤類　・避雷針 ・通信機器　・構内交換機器　・接地材料　・　・
事	㉜ 工事写真等の記録	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（令和５年改定）」による。 2) 請負契約約款第１４条第３項に定める工事写真は次のとおり。 ・地中埋設配管部　・機器の基礎及びアンカーボルト埋設部　⊙塗装工程 ・接地極埋設部　⊙天井、トレンチ内の隠ぺい箇所　・躯体内隠ぺい部 3) 区分による規格、枚数、部数は次による。

区　分	大きさ(mm)	撮　影　枚　数	部数	備　　考
着工前	100×148程度	監督員の指示による	1 部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、
工事中	85×115程度	監督員の指示による	1 部	工事完成時に提出する。
完成時	100×148程度	監督員の指示による	1 部	Ａ４用紙に整理したもの

章	項　　目	特　　記　　事　　項
事項		4) 完成写真の撮影は、次による。　・建築写真撮影業者　※ 建築写真撮影業者以外 5) 写真はＡ４版用紙に順序よく貼付又は印刷し、説明事項を記入して提出する。 6) 中間検査又は監督員の指示により、手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添付し提出する。
	33 部分払いの対象工事材料	請負契約約款第３７条第１項に定める部分払の対象とする工事材料は次のとおり。 ・機器　・盤　・配管、配線　・
	㉞ 火災保険等	請負契約約款第４９条に定める火災保険等は次のとおり。（加入期間は着工日より引渡日まで） ※ 組立保険　・建設工事保険

最終改訂　Ｒ８．１０．１

設計　一級建築士事務所　株式会社 土倉建築事務所
石川県知事登録　１２４８号
一級建築士　１９９０８号　山田敬一

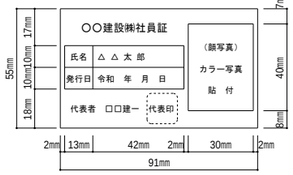
工事名	東陽中学校屋内運動場等空調設備工事	
図面名	工事仕様書（電気設備）３枚組	図面番号　Ｅ－０１

章	項　　目	特　　記　　事　　項
●一般共通事項	㉟ 耐震施工	次に示す事項を除き、すべて独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針２０１４年版」による。 (2-2.1.13(2)～(4)) 1) 機器の設計用標準水平震度及び耐震クラスは図示による。図示がなければ次による。

設置場所	耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）	
	特定の施設	一般の施設
	・ 耐震クラスＳ	⊙ 耐震クラスＡ
上層階、屋上及び塔屋	２．０	１．５ ＜２．０＞
中間階	１．５	１．０ ＜１．５＞
一階及び地下階	１．０ （１．５）	１．０

注1 設置場所の区分は、機器等を支持する床部分により適用し、天井面（上階床）より支持する機器等は直上階を適用する。
注2 上層階は、２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、10～12階建の場合は上層３階、13階建以上の場合は上層４階とする。
注3 （ ）内の値は水槽類（受水槽、高置水槽、消火関係水槽、オイルタンク等）、＜ ＞内の値は防振支持の機器（防振材・防振装置を介して設置される機器）に適用する。
2) 地域係数は１．０とする。
3) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とし水平地震力と同時に働くものとする。
4) 重量１ｋＮ以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し据付け又は取付けを行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

	㊱ 電気工事士	500kW以上の自家用電気工作物においては第一種電気工事士により施工を行うように努める。
	㊲ 電線本数・管路等	分電盤、制御盤、端子盤等の二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は機能を優先し、図面と多少相違しても差し支えない。ただし、相違する場合は監督員の承諾を受ける。また、機械室の露出配線は、金属管にて施工し、全長にわたって接地線を設ける。
	㊳ 名札の義務	請負金額１０，０００千円以上の元請工事の現場代理人及び主任（監理）技術者は顔写真付き名札を常時着用する。下記の寸法等は、参考であり、社員証等に替えることができる。



	㊴ 退職金共済制度	受注者は建設業退職金共済制度に加入し、本工事の掛金収納書を工事請負契約締結後１ヵ月以内に監督員を通じて発注者に提出する。また、現場事務所に適用標識（シール）を掲示する。
	㊵ 過積載等の防止	1)積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませない。 2)さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませない。 3)過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長しないようにする。 4)取引関係のあるダンプカー事業車が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずる。 5)建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにする。 6)「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和４２年８月２日法律第１３１号。以下「法」という。）の目的に鑑み、法第１２条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進する。 7) 1)から6)につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導する。
	㊶ 景観への配慮	本工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく下記の事業であり、景観に配慮した施工に努める。　・ 重点事業　　・ 一般事業
	㊷ 総合評価方式における技術提案	「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく、「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。履行にあたり疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議する。
	㊸ 電子納品	※ 行う（「電子納品仕様書」による。）　・ 行わない 電子納品仕様書 １　電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

名　　称
営繕工事電子納品要領（令和３年改定）
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和４年改定）

基準・要領類のダウンロード　http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html
２　工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にＣＤ－Ｒ、ＤＶＤ－Ｒ又はＢＤ－Ｒで１部納品する。
３　工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。
工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。

章	項　　目	特　　記　　事　　項
●一般共通事項	44 公共事業労務費調査の協力	受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。 ① 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をする。 ② 調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力する。 ③ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行う。 ④ 下請負に付する場合には、当該下請工事受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む）が前各号と同様の義務を負う旨を定める。
	45 事故の補償	受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む）
●電力設備	1 照明用ポール	内蔵する開閉器　※ なし（取付板のみ）　・ 配線用遮断器　・ カットアウトスイッチ (1.4.2(14))
	2 分電盤等	1) キャビネット材質、仕上げ　・ 鋼板製指定色塗装　・ 鋼板製溶融亜鉛めっき　・ ステンレス鋼板製指定色塗装　・ (1.7.3) 2) 電力量計　・ 検定付　・ 無検定 (1.7.6)
	3 電気自動車用充電装置	・ 急速充電装置　・ 普通充電装置（定格電圧　・ 100V　・ 200V） (1.14.1～2)
	4 電線の接続	・ 高圧ケーブルの端末処理を行う場合は、被覆の伸縮対策を施す。 (2.1.1)
	5 配管引込部	地盤変位への対応　※ 小規模　・ 中規模　・ 大規模 (2.1.13(5)～(6))
	6 導入線	長さ１ｍ以上の通線しない配管には 1.2㎜以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。 (2.2.9(3))
	7 管の埋設深さ	埋設深さは原則として、構内道路、高圧ケーブル、幹線ケーブルは（・ 60cm　・　cm）、その他は（・ 30cm　・　cm）とする。 (2.12.2)
	8 標識シート等	1) 地中配線に標識シート（倍折）を敷設する。 (2.12.4) 2) 埋設標（・ コンクリート製　・ 樹脂製　・ 鉄製）・ 要（図示箇所）　・ 不要 (2.12.5)
	9 雷保護接地極	・ 板状　・ 垂直　・ 水平　・ 環状　・ 網状　・ 構造体利用 (2.17.4)
	10 施工の試験	1) 構造体利用等の接地極における接地抵抗測定の時期及び回数（　） (2.18.2) 2) 一般照明の照度測定を ⊙ 行う（改修は対象室の改修前後）　・ 行わない (改2.19.2)
●受変電設備	1 キュービクル式配電盤等	1) キャビネット材質、仕上げ及び電力量計は、電力設備の分電盤等による。 (1.1.3) (1.1.5) 2) 温度上昇性能試験を　・ 行う　※ 行わない (1.9.1)
	2 交流遮断器	操作方式　・ 手動ばね操作方式　・ 電気操作方式 (1.1.6(1))
	3 進相コンデンサ等	1) 進相コンデンサ絶縁方式は図示による。 (1.1.5(3))(1.1.6(3)) 2) 直列リアクトル絶縁方式は図示による。 (1.1.5(4))(1.1.6(4))
○電力貯蔵設備	1 交流無停電電源装置	・ 常時インバータ給電方式　・ ラインインタラクティブ方式　・ 常時商用給電方式 (1.2.1) 停電補償時間　　分 (1.2.7)
	2 電力調整用蓄電装置	1) 機能（ピークシフト、ピークカット、需給調整、電力補償）は図示による。 (1.3.1(2)) 2) 蓄電池　※ リチウム二次電池　・ 鉛蓄電池　・ 3) 蓄電池の容量、期待寿命、充放電回数及び放電時間は図示による。 (1.3.5(1))(1.3.5(2))
○発電設備	1 ディーゼル発電装置	運転時間　　時間 (1.1.1(5))
	2 太陽光発電装置	1) 自立運転を　・ 行う　・ 行わない (1.7.1(3)) 2) 太陽電池アレイの公称出力は、図示による。 (1.7.2(2))
	3 その他	1) 燃料油の種別及び配管材料等は、図示による。 (1.1.7.1)(1.1.8) 2) 系統連系を　・ する　・ しない (1.4.1(ｴ))等
○通信・情報設備	1 端子盤等	キャビネット材質及び仕上げは、電力設備の分電盤等による。 (1.4.2)
	2 機器仕様	詳細機器仕様は、図示による。 (1.5.1)等
	3 標識シート等	標識シート等は、電力設備の標識シート等による。 (2.11.3) (2.11.4)
	4 テレビ共同受信設備	受信調査を　・ 行う（　チャンネル）　・ 行わない (2.19.3)
○中央監視制御設備	1 警報盤	信号の伝送方式は、図示による。 (1.2.1)
	2 記録装置	印字方式は、図示による。 (1.4.6)

章	項　　目	特　　記　　事　　項
○その他	1 接地極	接地極の材料は下記による。なお接地棒EB(14φ)の長さは 1,500㎜以上とし、10φは、W＝30 L＝900㎜以上、14φはW＝40 L＝1,200㎜以上 としてもよい。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
共同接地	EA EB EC ED	Ω以下	・ＥＢ（14φ）×３連－　組 ・ＥＰ－900　×１
共同接地	EA EC ED	Ω以下	・ＥＢ（14φ）×３連－　組 ・ＥＰ－900　×１
Ａ　種	EA	10 Ω以下	・ＥＢ（14φ）×３連－　２　組 ・ＥＰ－900　×１
Ｂ　種	EB	Ω以下	・ＥＢ（14φ）×３連－　２　組 ・ＥＰ－900　×１
Ｃ　種	EC	10 Ω以下	・ＥＢ（14φ）×３連－　組 ・ＥＰ－900　×１
Ｄ　種	ED	100 Ω以下	ＥＢ（10φ）×１（Ｌ＝1,000㎜）
Ｄ種 ELCB用	ED ELCB	100 Ω以下	ＥＢ（10φ）×１（Ｌ＝1,000㎜）
高圧避雷器	ELH	10 Ω以下	・ＥＢ（14φ）×３連－　２　組 ・ＥＰ－900　×１
低圧避雷器	ELL	10 Ω以下	・ＥＢ（14φ）×３連－　２　組 ・ＥＰ－900　×１
雷保護設備	EL	50 Ω以下	・ＥＢ（14φ）×２連－　２　組 ・ＥＰ－600　×２
構造体接地			
交換機用	Et	Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－　組
通信用	EAt	10 Ω以下	・ＥＢ（14φ）×３連－　２　組 ・ＥＰ－900　×１
通信用	EDt EDa	100 Ω以下	ＥＢ（10φ）×１（Ｌ＝1,000㎜）
測定用	E0		ＥＢ（10φ）×１（Ｌ＝1,000㎜）

（別表－１）他工事との取り合い

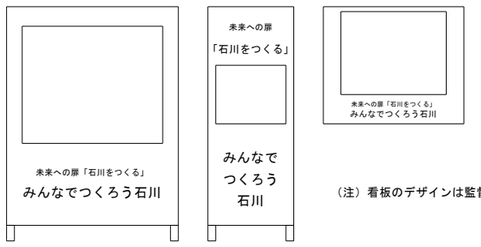
工　事　内　容			電気	機械	建築	備　考
開口部	はり、床、壁の貫通部（ＲＣ造）	補強筋			●	建築図面に図示
		スリーブ、仮枠、穴埋共	●			Ｓ造は建築
	埋込形分電盤、端子盤、プルボックス	補強筋			●	建築図面に図示
		仮枠	●			
	天井、壁ボード類の軽量鉄骨下地補強（埋込形照明器具用）	下地補強			●	建築図面に図示
		ボード類切込み	●			
軽量鉄骨へのボックス取付金具及びその取付			●			
既成開仕切りへの位置ボックス及びその取付					●	
発電機、配電盤及び制御盤等の基礎					●	建築図面に図示
避雷針、ＴＶアンテナの屋上コンクリート基礎（自立型の場合）					●	建築図面に図示
配管ピット及びふた					●	
床、壁、天井の点検口					●	建築図面に図示
自動扉、電動シャッター、防火ドア等制御盤の一次側配管配線			●			※１
実験台付属コンセント等への配管配線及び配線接続（直接続のみ）			●			
機械設備機器付属の制御盤への電源供給の配管配線			●			一次側
機械設備機器付属の制御盤以降の配管配線(接地共)				●		二次側
制御盤と動力盤間の電源供給及び操作回路の渡り配管配線			●			
機械設備機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線			●			天吊FCU、換気扇等

※１　二次側配線、配管及びシャッター、防火ドア、自動扉は建築工事

設計　一級建築士事務所　株式会社 土倉建築事務所　石川県知事登録　１２４８号　一級建築士　１９９４０８号　山田敬一

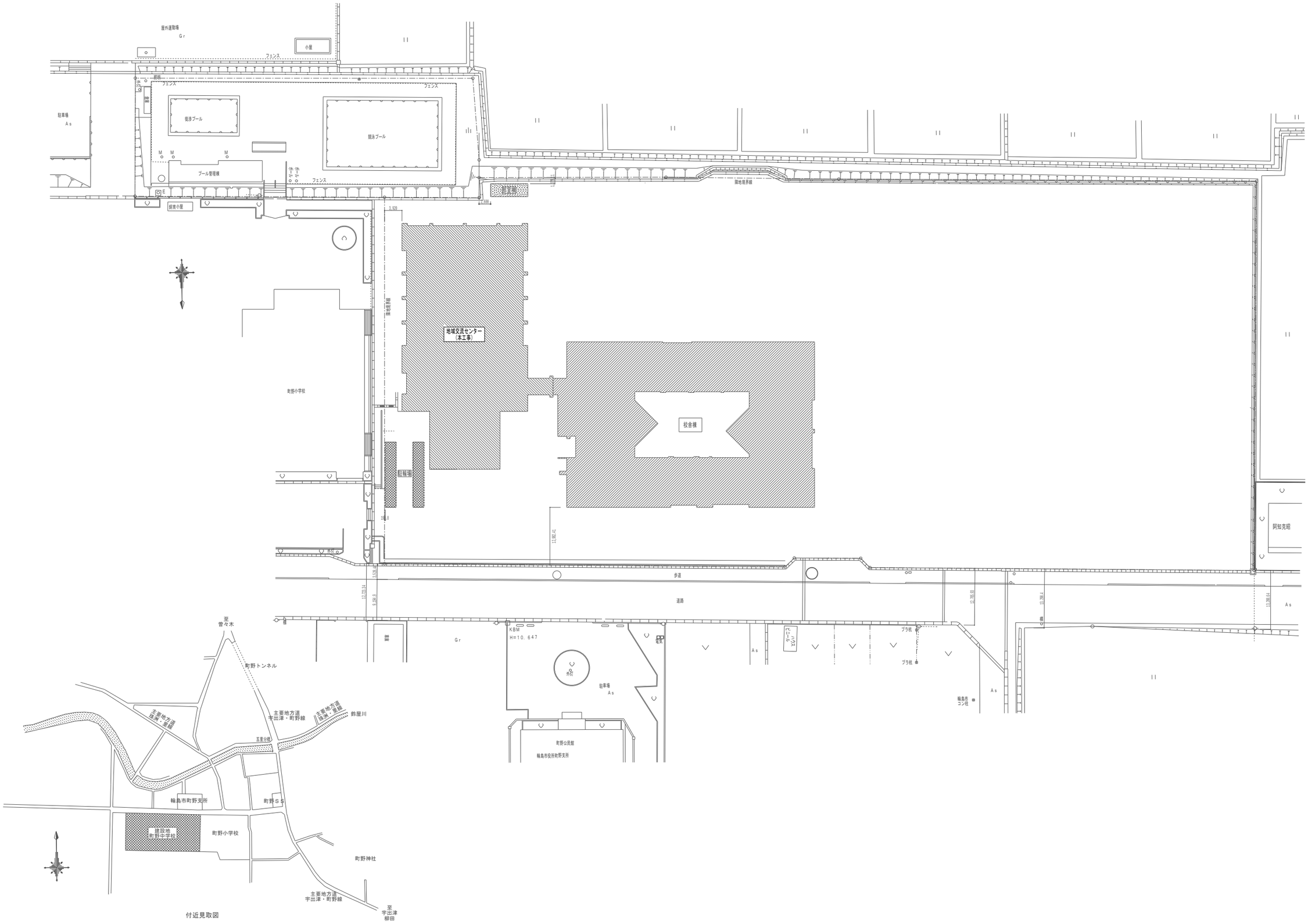
工事名　東陽中学校屋内運動場等空調設備工事

図面名　工事仕様書（電気設備）２／３　　図面番号　Ｅ－０２

章	項　　目	特　　記　　事　　項
● そ の 他	①いしかわ週休２日工事	工事現場において週休２日に取り組む「いしかわ週休２日工事」（以下、「週休２日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。 なお、週休２日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室ＨＰの「いしかわ週休２日工事　実施要領」を参照すること。 （１）受注者は、工事現場に週休２日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 （２）受注者は、現場着手前に休日取得［計画］表を作成し、監督員に提出・共有すること。 （３）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得［計画］表を修正し、監督員に提出・共有すること。 （４）受注者は、工期最終日までに、休日取得［実績］表を記入し、監督員に提出すること。 （５）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて１日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 （６）週休２日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。
	②余裕期間制度試行工事	１）適用 ・　対象 ※　対象外 ２）余裕期間制度対象工事の内容 （１）本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。 （２）受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。 （３）受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。 （４）工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。 （５）受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。 （６）受注者は、着工日までの余裕期間内に工事（工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。）に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。 （７）受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任（監理）技術者の配置を要しない。 （８）受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。 （９）余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。 （10）その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。 （着工日の期限）　契約締結日から起算して○ヶ月以内
	③イメージアップ看板	・　設置する ・　設置しない（別途工事で設置等） ※　監督員へ提案・協議し、設置することができる（設置費は受注者負担とする） 【参考図】 野立型（大）　H1400×W1100 野立型（小）　H1400×W550 壁掛型　H750×W900  （注）看板のデザインは監督員に確認すること
	④情報共有システム	石川県建設工事情報共有システム実施要領（営繕工事編）に基づく。 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/kijun/kijun.html ・　利用する（発注者指定型） ※　現場着手前に発注者と協議し、利用することができる（施工者希望型）

章	項　　目	特　　記　　事　　項

設　計	一級建築士事務所 株式会社 土倉建築事務所 石川県知事登録　１２４８号 一級建築士　１９４０８号　山田敬一	工事名	東陽中学校屋内運動場等空調設備工事
		図面名	工事仕様書（電気設備）３／３
		図面番号	Ｅ－０３



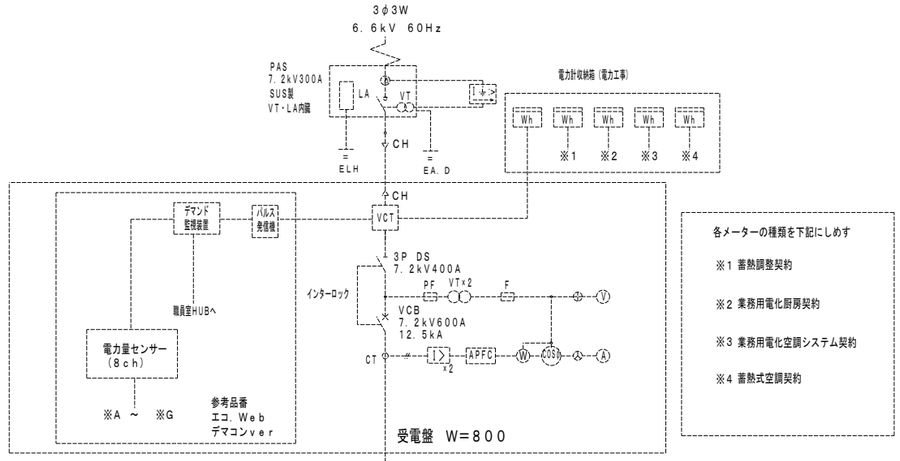
付近見取図

JOB NO.	DATE	PROJECT NAME		DRAWING	TITLE	SCALE	NO.
	2026年 9月	東陽小中学校屋内運動場等空調設備工事		・ ・	配置図・付近見取図	1／800	E－04

一級建築士事務所 株式会社 土倉建築事務所 石川県知事登録 1248号
一級建築士 199408号 山田 敬一

1）機器等

品　名	仕　様		数　量
共通事項	設置場所：㋐屋内・屋外		
	設置形式：㋐キュービクル形・高圧スイッチギア ・薄形・解放型		
高圧負荷開閉器（引込）	㋐PAS・PVS・UGS・その他（　　）		
高圧受電盤	設置形：㋐単独・二段・三段・その他（　　）		
	遮断器	㋐真空遮断器（VCB） 形式：㋐固定・引出形 定格遮断電流：12．5kA 短絡電流：20KA 操作方法：㋐手動ばね・電動ばね・ソレノイド操作方式 ・真空遮断機（VCB）	1面
	断路器	㋐DS・LBS・PC・その他（　　）	
	指示計器	電圧計：・機械式㋐電子式	
		電流計：・機械式㋐電子式	
		電力計：・機械式㋐電子式	
	遠方監視用端子：㋐有・無		
	保護継電器：誘導形　電子式		
低圧配電盤	設置形式：㋐キュービクル形・高圧スイッチギア ・薄形・開放形		
	断路器	・単相・三相 ・DS㋐LBS・PC・その他（　　）	3面
	指示計器	電圧計：・機械式㋐電子式	
		電流計：・機械式㋐電子式	
		電力計：・機械式・電子式	
	遠方監視用端子：㋐有・無		
	配線用遮断機は埋込みフラッシュプレート付き		
	配線用遮断機は、警報接点付		



各メーターの種類を下記にしめす

※1 蓄熱調整契約

※2 業務用電化厨房契約

※3 業務用電化空調システム契約

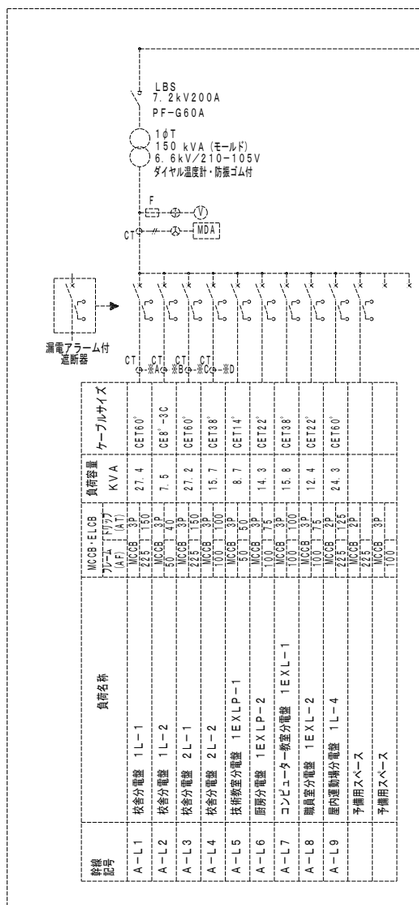
※4 蓄熱式空調契約

下記の警報回路を配電盤に設置し、外部警報端子を設置する。

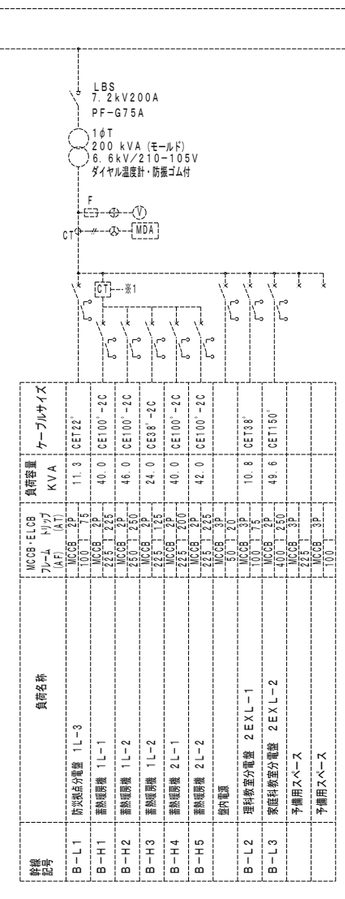
キュービクル警報表示仕様

項　目		キュービクル 表示ランプ	キュービクル ブザー	警報盤	備　考
地絡	本体	○	○	○	事務室既設警報盤に一括表示
過電流		○			
ヒューズ溶断	一般電灯変圧器用	○			
	蓄熱暖房変圧器用	○			
	動力変圧器用	○			
コンデンサ用リアクトル異常		○			
配線用遮断器トリップ（一括）		○			
トランス漏電	一般電灯変圧器用	○			
	蓄熱暖房変圧器用	○			
	動力変圧器用	○			
トランス温度異常	一般電灯変圧器用	○			
	蓄熱暖房変圧器用	○			
	動力変圧器用	○			
デマンド監視警報				○	事務室既設警報盤に表示

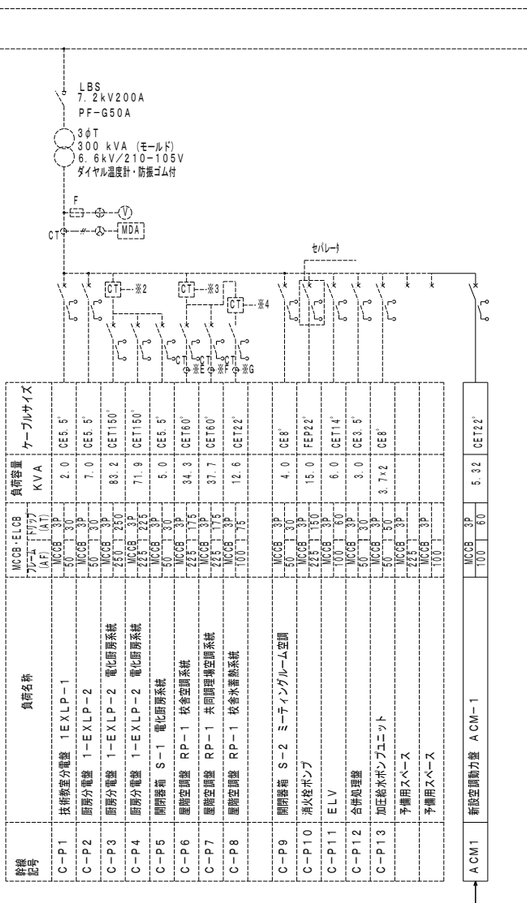
上記停電時にも警報回路が作動するようバッテリー組込み



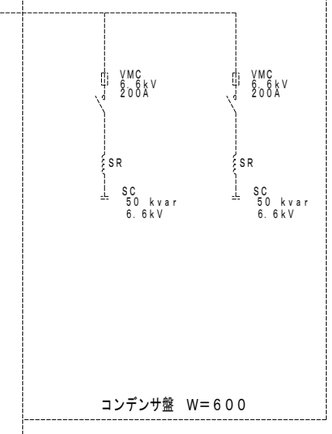
一般電灯盤　W=800



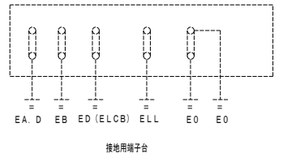
蓄熱暖房盤　W=800



低圧動力盤　W=1200



コンデンサ盤　W=600



キュービクル式配電盤　単線接続図

改修内容
低圧動力盤に新設空調動力盤ACM－1用のブレーカーを増設

JOB NO.	DATE	PROJECT NAME		DRAWING	TITLE	SCALE	NO.
	2026年 9月	東陽小中学校屋内運動場等空調設備工事	一級建築士事務所 株式会社 土倉建築事務所 石川県知事登録 1248号 一級建築士 199408号 山田 敬一	・ ・	高圧受変電設備 改修図	N・S	E－05

動力盤リスト表

盤名 形式 設置場所	幹線番号 合計容量	電源結線 電源仕様	負荷回路 結線方式	負荷仕様	出力(kW)	開閉器容量	シーケンス回路符号	盤表示 現場盤 運	停	故	運	停	故	備考
新設ACM－1 1階備蓄倉庫 屋内鋼板製 露出形	屋内キュービクルより 幹線番号：※ACM1 AC(一般) 3φ3W 200V 合計：5.32kW	MCCB 3P 100AF 60AT	A	GHP-1･2用電源切替盤	2.66	E3P 50AF/30AT								1
			A	GHP-3･4用電源切替盤	2.66	E3P 50AF/30AT								2

A

分岐開閉器

注記事項

INV ： インバーター(支給品)

(A) ： 電流計(超過目盛計、赤指針付)
・ 15A以上の電流計はCT付きとする。

： 分岐開閉器種別で[M]と表記のものはMCB、[E]と表記のものはELBとする。
[MA]と表記のものはMCBの警報接点付とする。
[EA]と表記のものはELBの警報接点付とする。

電灯盤リスト表 (既設電灯盤改造)

盤名称	結線	回路番号	負荷名称	ブレーカー容量(AF/AT)	負荷容量(VA) 照明	コンセント	空調	電圧(V)	備考
まちづくり ミーティングルーム 1L-3 (B-L1) 1φ3W 100/200V 11.3KVA	WHM 120A MCCB3P 100AF/ 75AT DT L－0へ	(101)	ホール 照明	MCCB 2P1E 50/20	714			100	
		(102)	男子便所･更衣室･前室 照明	MCCB 2P1E 50/20	490			100	
		(103)	女子便所･更衣室･前室 照明	MCCB 2P1E 50/20	544			100	
		(104)	ミーティングルーム 照明	MCCB 2P1E 50/20	788			100	
		(105)	駐車場 照明	ELCB 2P1E 50/20	100			100	STM(1回路)
		(106)	駐輪場 照明	ELCB 2P1E 50/20	400				
		(301)	女子便所便座 コンセント	ELCB 2P1E 50/20		200		100	
		(302)	男子便所便座 コンセント	ELCB 2P1E 50/20		250		100	
		(303)	更衣室･前室 コンセント	ELCB 2P1E 50/20		900		100	
		(304)	多目的WC コンセント	ELCB 2P1E 50/20		1500		100	
		(305)	湯沸室 コンセント	ELCB 2P1E 50/20		1500		100	
		(306)	ミーティングルーム コンセント	ELCB 2P1E 50/20		400		100	
		(401)	エコキュート	ELCB 2P1E 50/20		1500		100	
		( )	予 備	MCCB 2P1E 50/20		1000		100	
		( )	予 備	MCCB 2P1E 50/20		1000		100	
					照明	コンセント			
			合 計		3,036	8,250			
屋内壁掛型指定色塗装									
体育館 器具庫2 1L-4 (A-L9) 1φ3W 100/200V 24.3kVA CET60°	MCCB3P 225AF/ 200AT	(誘)	誘導灯		30				
		(101)	器具庫･倉庫 照明	MCCB 2P1E 50/20	1105			100	
		(102)	ステージ 照明	ELCB 2P1E 50/20	850			100	
		(103)	控室 照明	ELCB 2P1E 50/20	510			100	
		(104)	外壁 照明	ELCB 2P1E 50/20	40			100	20A-R.Y (R17)
		(105)	廊室 照明	ELCB 2P1E 50/20	255			100	
		(106)	屋外 照明	ELCB 2P1E 50/20	50				STM(1回路)
		(201)	屋内運動場上部 照明	MCCB 2P2E 50/20	2700			200	20A-R.Y×3 (R1,2,3)
		(202)	屋内運動場上部 照明	MCCB 2P2E 50/20	2700			200	20A-R.Y×3 (R4,5,6)
		(203)	屋内運動場上部 照明	MCCB 2P2E 50/20	2700			200	20A-R.Y×3 (R7,8,9)
		(204)	屋内運動場上部 照明	MCCB 2P2E 50/20	2700			200	20A-R.Y×3(R10,11,12)
		(205)	屋内運動場上部 照明	MCCB 2P2E 50/20	2700			200	20A-R.Y×3(R13,14,15)
		( )						200	
		( )	リモコン制御用	MCCB 2P2E 50/20					
		( )	予 備		1000			100	
		( )	予 備		1000			100	
		301	器具庫･倉庫 コンセント	MCCB 2P1E 50/20		500		100	
		(302)	屋内運動場 コンセント	MCCB 2P1E 50/20		400		100	
		(303)	屋内運動場 コンセント	MCCB 2P1E 50/20		300		100	
		(304)	放送器具庫 コンセント	MCCB 2P1E 50/20		1000		100	
		(305)	ステージ コンセント	MCCB 2P1E 50/20		300		100	
		(306)	メンテナンス通路 コンセント	MCCB 2P1E 50/20		500		100	
		( )	予 備			1000		100	
		( )	予 備			1000		100	
		(A)	空調電源切替盤(GHP－1系統)	ELCB 2P2E 50/20				200	→ブレーカー増設
		(B)	空調電源切替盤(GHP－3系統)	ELCB 2P2E 50/20				200	→ブレーカー増設
					照明	コンセント			
			合 計		19,316	5,000			
屋内壁掛型指定色塗装 上部ダクト付	リモコントランス内蔵 20A-R.Y×17 内臓								

改修内容
既設電灯盤に空調電源切替盤のブレーカーを増設

JOB NO.	DATE	PROJECT NAME		DRAWING	TITLE	SCALE	NO.
	2026年 9月	東陽小中学校屋内運動場等空調設備工事	一級建築士事務所 株式会社 土倉建築事務所 石川県知事登録 1248号 一級建築士 199408号 山田 敬一	・ ・	分電盤結線図	N・S	E－06

空調電源切替盤(GHP－1系統)

既設屋外キュービクル改造
低圧動力盤にブレーカー増設

※ACM1

既設天井点検口

以降E－08・12図参照

※J1

既設ケーブルラック配線

※ACM1

既設ケーブルラック

※J1
既設ケーブルラック配線

既設電灯盤1EXL－2

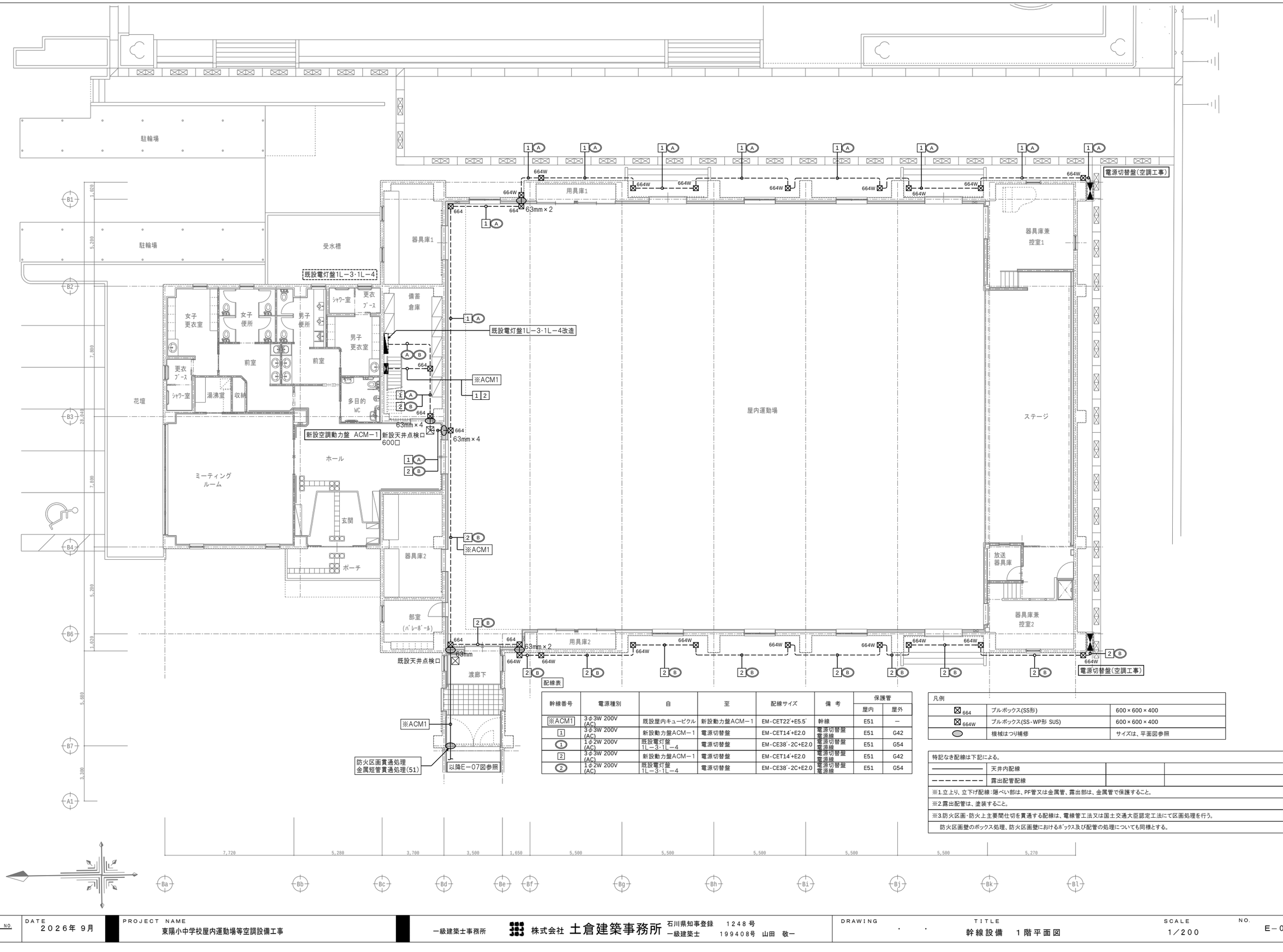
配線表

幹線番号	電源種別	自	至	配線サイズ	備　考	保護管	
						屋内	屋外
※ACM1	3φ3W 200V (AC)	既設屋内キュービクル	新設動力盤ACM－1	EM-CET22`+E5.5`	幹線	E51	－
※J1	1φ2W 100V (AC)	既設電灯盤 1EXL－2	電源切替盤 (GHP-3系統)	EM-CE2`-2C	フル2線伝送 ユニット電源線	E25	G22

凡　例

▷　出入り可能箇所を示す。

JOB NO.	DATE	PROJECT NAME		DRAWING	TITLE	SCALE	NO.
	2026年 9月	東陽小中学校屋内運動場等空調設備工事	一級建築士事務所　株式会社 土倉建築事務所　石川県知事登録　1248号　一級建築士　199408号　山田　敬一	・　・	幹線設備　校舎棟　1階平面図	1／200	E－07



配線表

幹線番号	電源種別	自	至	配線サイズ	備 考	保護管	
						屋内	屋外
※ACM1	3φ3W 200V (AC)	既設屋内キュービクル	新設動力盤ACM−1	EM-CET22`+E5.5`	幹線	E51	—
1	3φ3W 200V (AC)	新設動力盤ACM−1	電源切替盤	EM-CET14`+E2.0	電源切替盤電源線	E51	G42
①	1φ2W 200V (AC)	既設電灯盤 1L−3・1L−4	電源切替盤	EM-CE38`-2C+E2.0	電源切替盤電源線	E51	G54
2	3φ3W 200V (AC)	新設動力盤ACM−1	電源切替盤	EM-CET14`+E2.0	電源切替盤電源線	E51	G42
②	1φ2W 200V (AC)	既設電灯盤 1L−3・1L−4	電源切替盤	EM-CE38`-2C+E2.0	電源切替盤電源線	E51	G54

凡例

⊠664	プルボックス(SS形)	600×600×400
⊠664W	プルボックス(SS-WP形 SUS)	600×600×400
⬭	機械はつり補修	サイズは、平面図参照

特記なき配線は下記による。

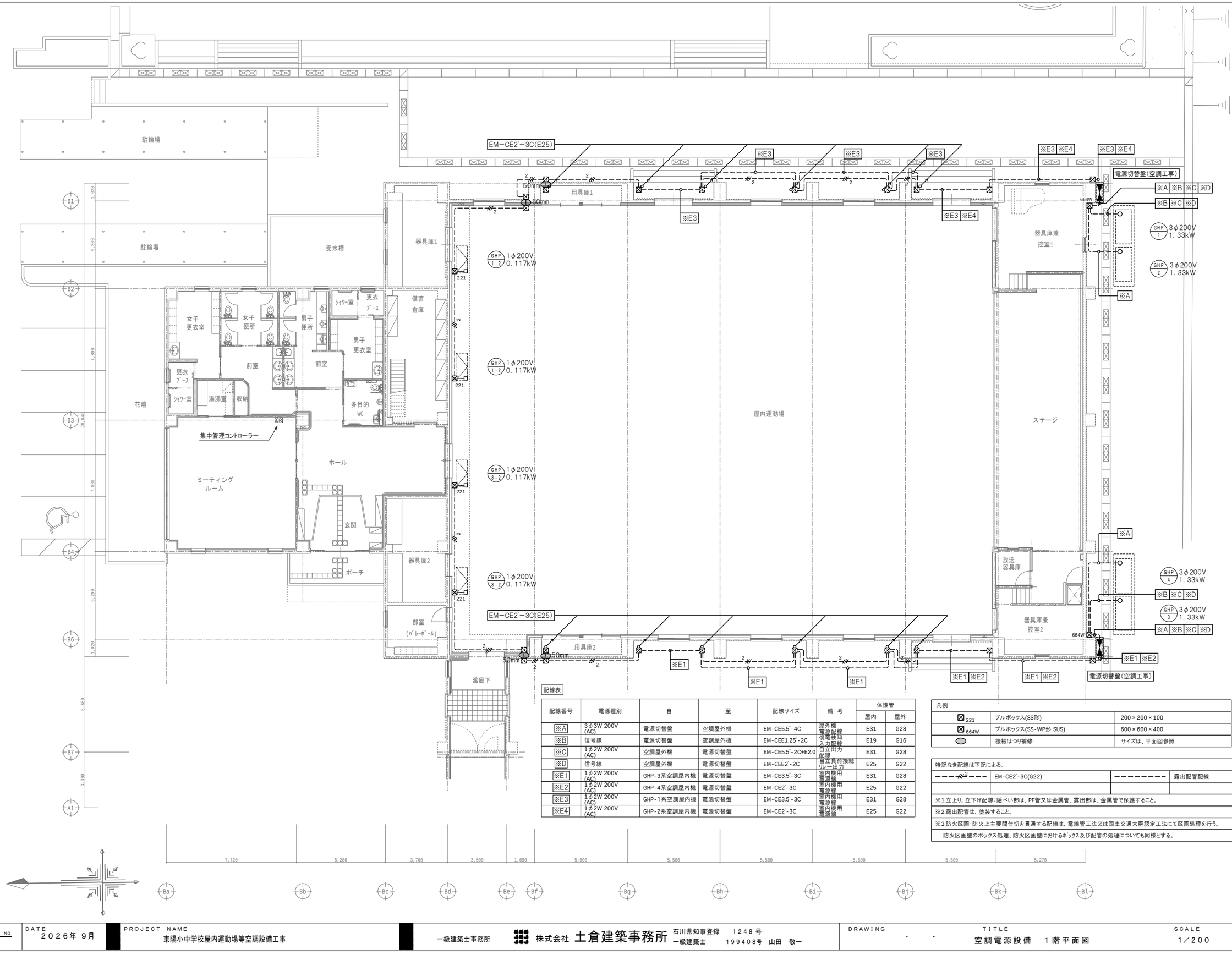
————	天井内配線		
− − − − − − −	露出配管配線		

※1.立上り、立下げ配線：隠ぺい部は、PF管又は金属管、露出部は、金属管で保護すること。

※2.露出配管は、塗装すること。

※3.防火区画・防火上主要間仕切を貫通する配線は、電線管工法又は国土交通大臣認定工法にて区画処理を行う。
防火区画壁のボックス処理、防火区画壁におけるボックス及び配管の処理についても同様とする。

JOB NO.	DATE	PROJECT NAME		DRAWING	TITLE	SCALE	NO.
	2026年 9月	東陽小中学校屋内運動場等空調設備工事	一級建築士事務所 株式会社 土倉建築事務所 石川県知事登録 1248号 一級建築士 199408号 山田 敬一	・ ・	幹線設備 1階平面図	1／200	E−08



配線表

配線番号	電源種別	自	至	配線サイズ	備 考	保護管	
						屋内	屋外
※A	3φ3W 200V (AC)	電源切替盤	空調屋外機	EM-CE5.5`-4C	屋外機電源配線	E31	G28
※B	信号線	電源切替盤	空調屋外機	EM-CEE1.25`-2C	復電検知入力配線	E19	G16
※C	1φ2W 200V (AC)	空調屋外機	電源切替盤	EM-CE5.5`-2C+E2.0	自立出力配線	E31	G28
※D	信号線	空調屋外機	電源切替盤	EM-CEE2`-2C	自立負荷接続ﾘﾚｰ出力	E25	G22
※E1	1φ2W 200V (AC)	GHP-3系空調屋内機	電源切替盤	EM-CE3.5`-3C	室内機用電源線	E31	G28
※E2	1φ2W 200V (AC)	GHP-4系空調屋内機	電源切替盤	EM-CE2`-3C	室内機用電源線	E25	G22
※E3	1φ2W 200V (AC)	GHP-1系空調屋内機	電源切替盤	EM-CE3.5`-3C	室内機用電源線	E31	G28
※E4	1φ2W 200V (AC)	GHP-2系空調屋内機	電源切替盤	EM-CE2`-3C	室内機用電源線	E25	G22

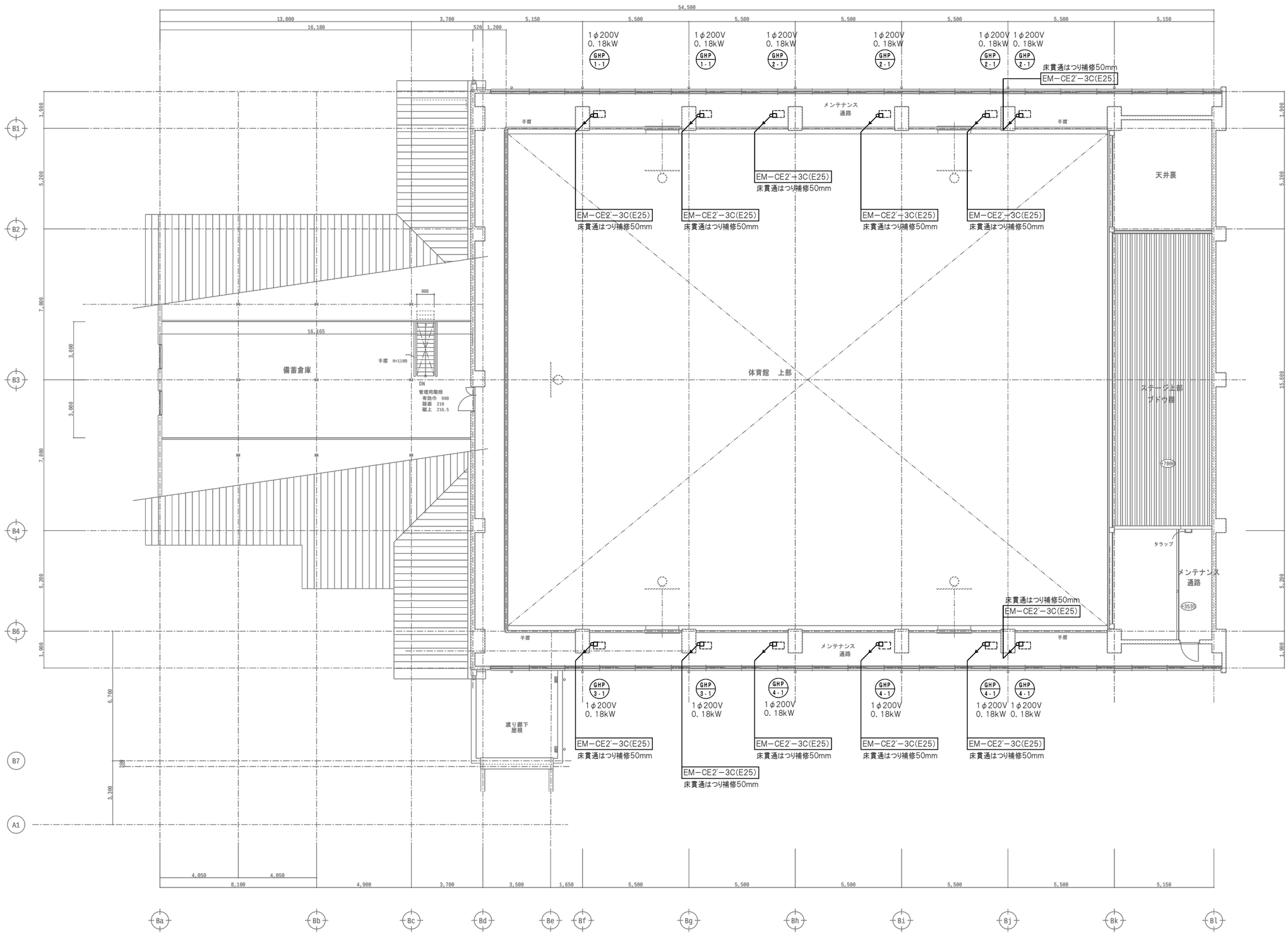
凡例

⊠ 221	プルボックス(SS形)	200×200×100
⊠ 664W	プルボックス(SS-WP形 SUS)	600×600×400
⬭	機械はつり補修	サイズは、平面図参照

特記なき配線は下記による。			
―――2―――	EM-CE2`-3C(G22)	――――――	露出配管配線

※1.立上り、立下げ配線：隠ぺい部は、PF管又は金属管、露出部は、金属管で保護すること。
※2.露出配管は、塗装すること。
※3.防火区画・防火上主要間仕切を貫通する配線は、電線管工法又は国土交通大臣認定工法にて区画処理を行う。
防火区画壁のボックス処理、防火区画壁におけるﾎﾞｯｸｽ及び配管の処理についても同様とする。

JOB NO.	DATE	PROJECT NAME			DRAWING	TITLE	SCALE	NO.
	2026年 9月	東陽小中学校屋内運動場等空調設備工事	一級建築士事務所	株式会社 土倉建築事務所 石川県知事登録 1248号 一級建築士 199408号 山田 敬一	・ ・	空調電源設備 1階平面図	1／200	E−09



JOB NO.	DATE	PROJECT NAME		DRAWING	TITLE	SCALE	NO.
	2026年 9月	東陽小中学校屋内運動場等空調設備工事	一級建築士事務所 株式会社 土倉建築事務所 石川県知事登録　1248号 一級建築士　199408号　山田　敬一	・　・	空調電源設備　2階平面図	1／200	E−10

駐輪場
駐輪場
受水槽
器具庫1
女子
更衣室
女子
便所
男子
便所
ｼｬﾜｰ室
更衣
ﾌﾞｰｽ
備蓄
倉庫
男子
更衣室
前室
前室
更衣
ﾌﾞｰｽ
ｼｬﾜｰ室
湯沸室
収納
多目的
WC
花壇
ミーティング
ルーム
ホール
玄関
ポーチ
器具庫2
部室
(ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ)
渡廊下
用具庫1
屋内運動場
器具庫兼
控室1
ステージ
放送
器具庫
器具庫兼
控室2
用具庫2
電源切替盤(空調工事)
電源切替盤(空調工事)
※I1 立下げはMM1-Bにて保護
※I1 立下げはMM1-Bにて保護
※I2
※I3
※F1 ※F2 ※G ※H
GHP 1
GHP 2
GHP 3
GHP 4
SW SW
332
63mm
50mm
B1
B2
B3
B4
B6
B7
A1
Ba Bb Bc Bd Be Bf Bg Bh Bi Bj Bk Bl
7,720 5,280 3,700 3,500 1,650 5,500 5,500 5,500 5,500 5,500 5,270
1,800 5,220 7,800 28,940 7,800 5,280 1,920 5,600 3,300

凡例

332	プルボックス(SS形)	300×00×200
SW	自立運転スイッチ盤	空調設備工事
	プルボックス(SS形)	幹線・空調電源設備と共用
	機械はつり補修	サイズは、平面図参照

特記なき配線は下記による。

----------	露出配管配線	

※1.立上り、立下げ配線:隠ぺい部は、PF管又は金属管、露出部は、金属管で保護すること。
※2.露出配管は、塗装すること。
※3.防火区画・防火上主要間仕切を貫通する配線は、電線管工法又は国土交通大臣認定工法にて区画処理を行う。
防火区画壁のボックス処理、防火区画壁におけるボックス及び配管の処理についても同様とする。

配線表

配線番号	電源種別	自	至	配線サイズ	備 考	保護管	
						屋内	屋外
※F1	信号線	GHP-3空調屋外機	GHP-4空調屋外機	EM-CEE2'-2C	室内外操作線	—	G22
※F2	信号線	GHP-1空調屋外機	GHP-2空調屋外機	EM-CEE2'-2C	室内外操作線	—	G22
※G	信号線	空調屋外機	空調屋外機	EM-CEE2'-2C	同期信号	—	G22
※H	信号線	空調屋外機	空調屋外機	EM-CEE2'-2C	ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ間通信線	—	G22

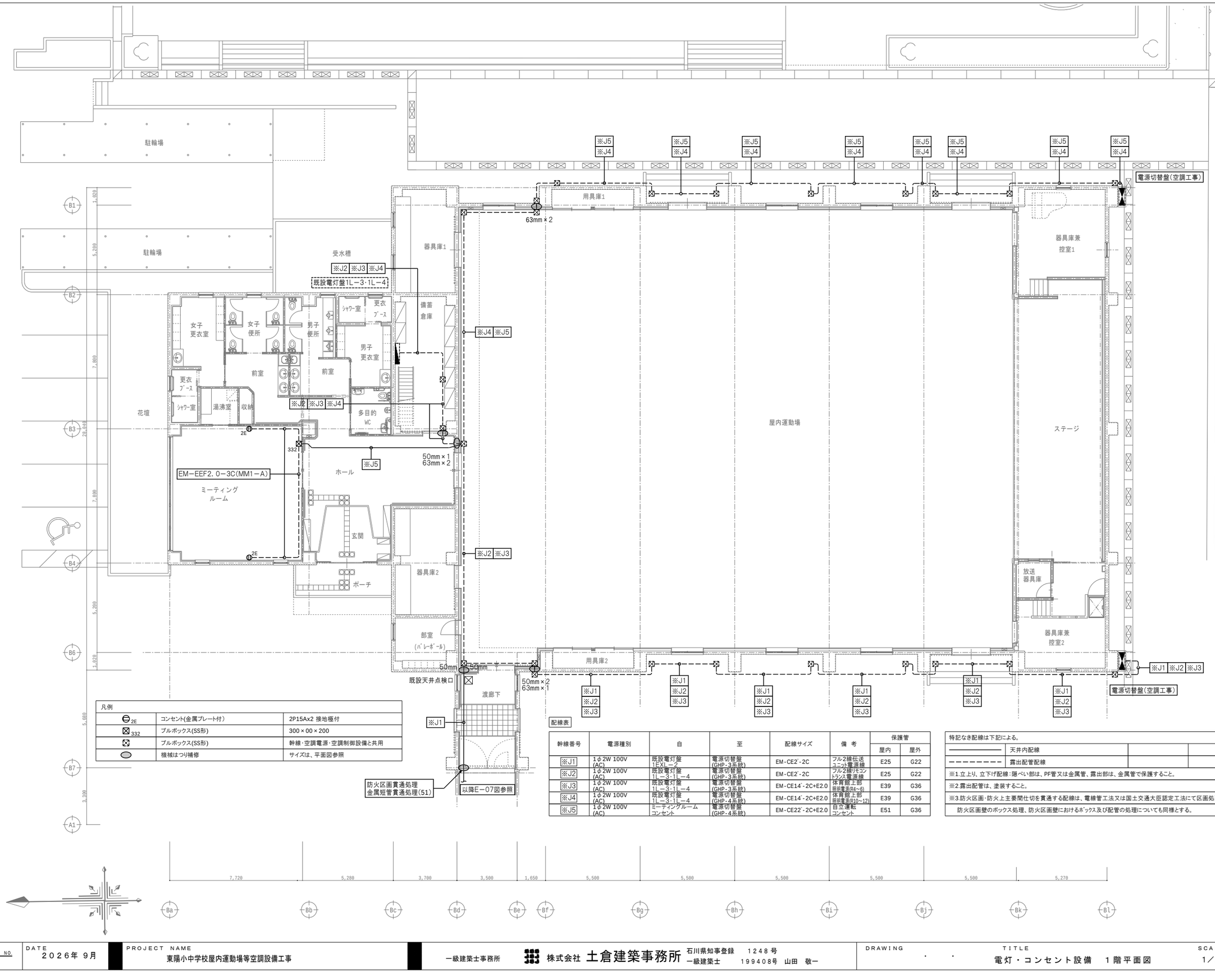
※I1
EM−CEE1．25'−2C×3
自立SW入力・自立運転ランプ出力・自立運転警報ランプ出力

※I2
EM−CEE1．25'−2C×3(E31)
自立SW入力・自立運転ランプ出力・自立運転警報ランプ出力

※I3
EM−CEE1．25'−2C×3(G28)
自立SW入力・自立運転ランプ出力・自立運転警報ランプ出力

※空調室内機から空調屋外への室内外操作線は空調設備とする。

JOB NO.	DATE	PROJECT NAME		DRAWING	TITLE	SCALE	NO.
	2026年 9月	東陽小中学校屋内運動場等空調設備工事	一級建築士事務所 株式会社 土倉建築事務所 石川県知事登録 1248号 一級建築士 199408号 山田 敬一	・ ・	空調制御設備 1階平面図	1／200	E−11



凡例

2E	コンセント(金属プレート付)	2P15Ax2 接地極付
332	プルボックス(SS形)	300×00×200
	プルボックス(SS形)	幹線・空調電源・空調制御設備と共用
	機械はつり補修	サイズは、平面図参照

配線表

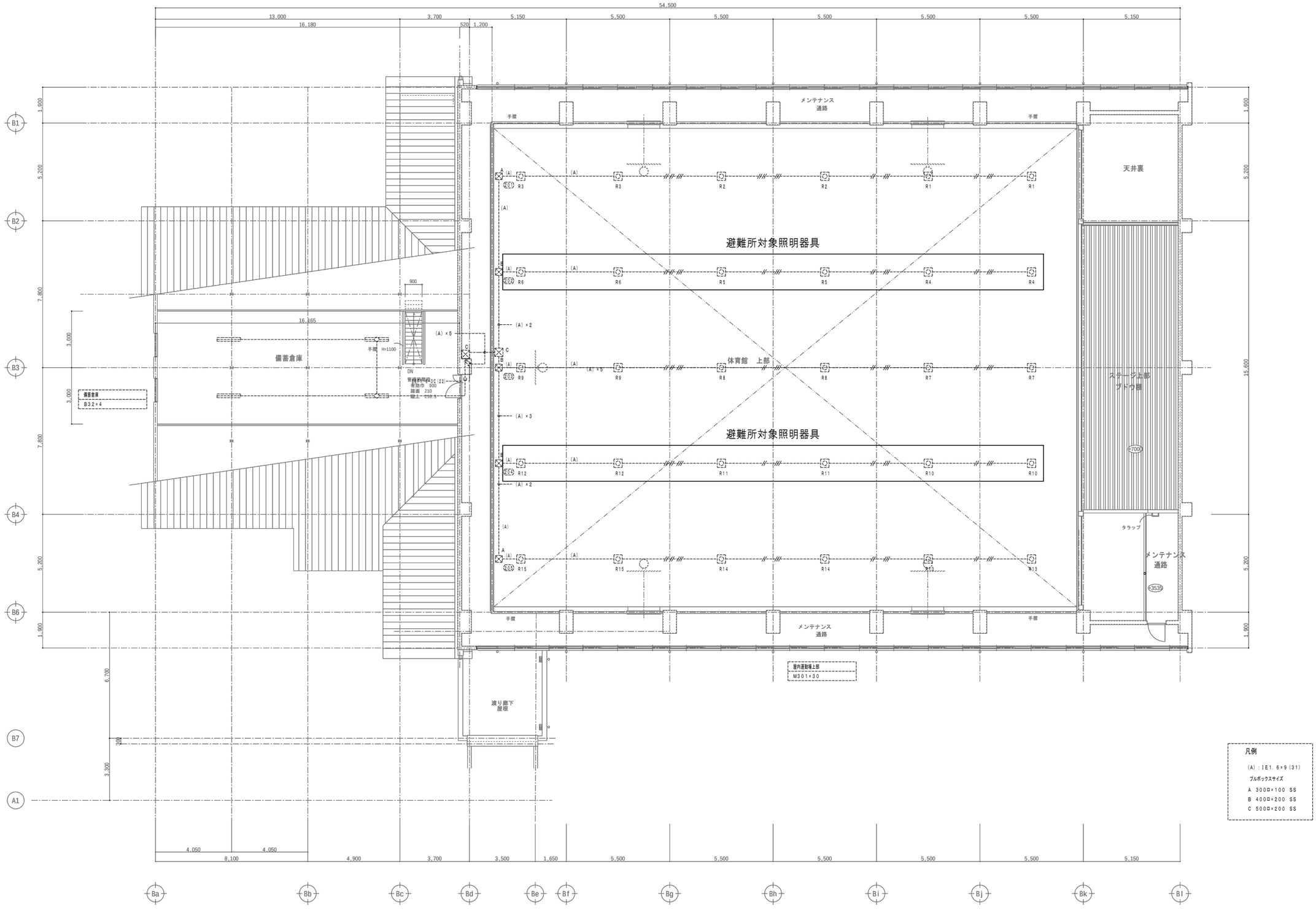
幹線番号	電源種別	自	至	配線サイズ	備 考	保護管 屋内	保護管 屋外
※J1	1φ2W 100V (AC)	既設電灯盤 1E(L−2	電源切替盤 (GHP-3系統)	EM-CE2˙-2C	フル2線伝送 ユニット電源線	E25	G22
※J2	1φ2W 100V (AC)	既設電灯盤 1L−3・1L−4	電源切替盤 (GHP-3系統)	EM-CE2˙-2C	フル2線リモコン トランス電源線	E25	G22
※J3	1φ2W 100V (AC)	既設電灯盤 1L−3・1L−4	電源切替盤 (GHP-3系統)	EM-CE14˙-2C+E2.0	体育館上部 照明電源(R4~6)	E39	G36
※J4	1φ2W 100V (AC)	既設電灯盤 1L−3・1L−4	電源切替盤 (GHP-4系統)	EM-CE14˙-2C+E2.0	体育館上部 照明電源(R10~12)	E39	G36
※J5	1φ2W 100V (AC)	ミーティングルーム コンセント	電源切替盤 (GHP-4系統)	EM-CE22˙-2C+E2.0	自立運転 コンセント	E51	G36

特記なき配線は下記による。

———	天井内配線	
− − − − −	露出配管配線	

※1.立上り、立下げ配線:隠ぺい部は、PF管又は金属管、露出部は、金属管で保護すること。
※2.露出配管は、塗装すること。
※3.防火区画・防火上主要間仕切を貫通する配線は、電線管工法又は国土交通大臣認定工法にて区画処理を行う。
防火区画壁のボックス処理、防火区画壁におけるボックス及び配管の処理についても同様とする。

JOB NO.	DATE	PROJECT NAME		DRAWING	TITLE	SCALE	NO.
	2026年 9月	東陽小中学校屋内運動場等空調設備工事	一級建築士事務所 株式会社 土倉建築事務所 石川県知事登録 1248号 一級建築士 199408号 山田 敬一	・ ・	電灯・コンセント設備 1階平面図	1/200	E−12



JOB NO.	DATE	PROJECT NAME		DRAWING	TITLE	SCALE	NO.
	2026年 9月	東陽小中学校屋内運動場等空調設備工事	一級建築士事務所 株式会社 土倉建築事務所 石川県知事登録 1248号 一級建築士 199408号 山田 敬一	・ ・	電灯設備 2階平面図	1／200	E－13